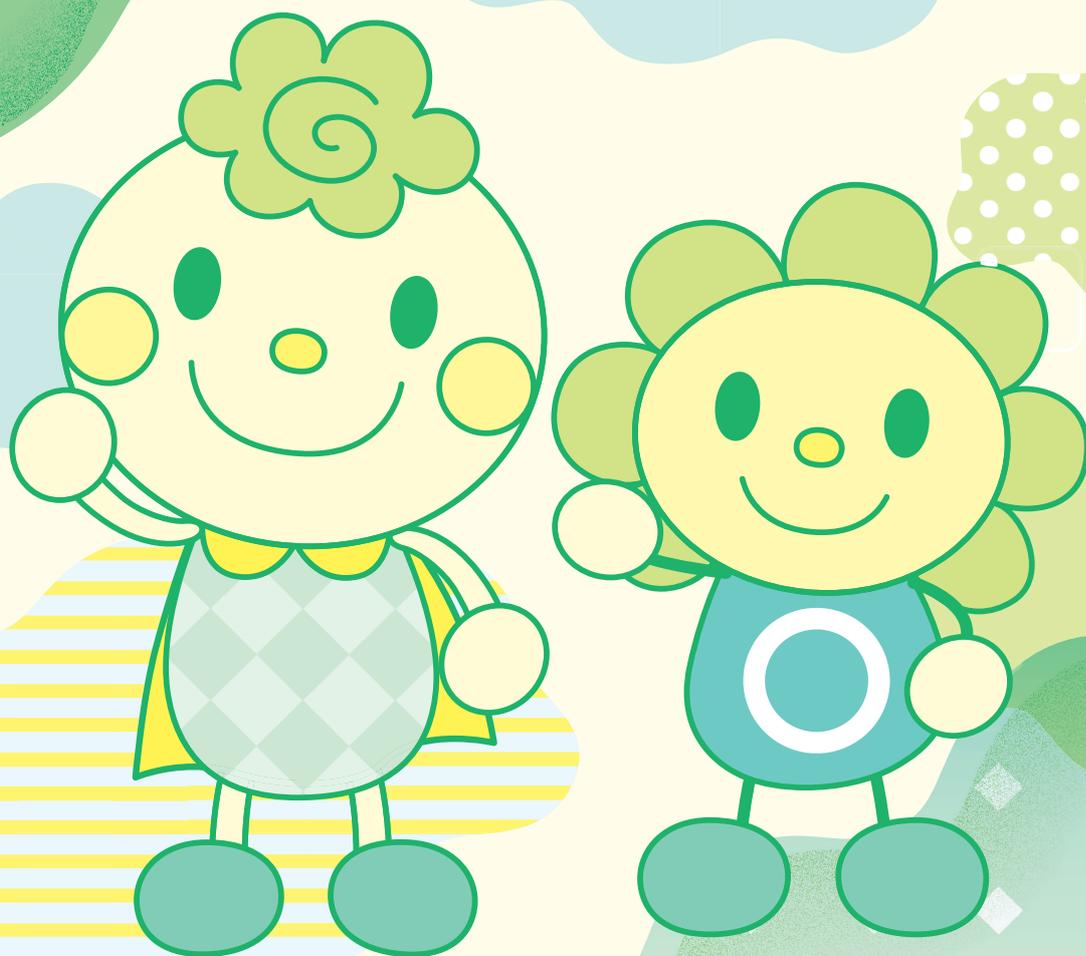




花まる学習会

おためしワーク

3年生



おうちのかたへ

低学年思考力教材「なぞペー」「レインボータイム」の問題から抜粋して掲載しています。

たてか横^{よこ}にひとつずつ^{すす}進んでゴールをめざします。

ルールは白黒黒と進んでいくことです。

スタート



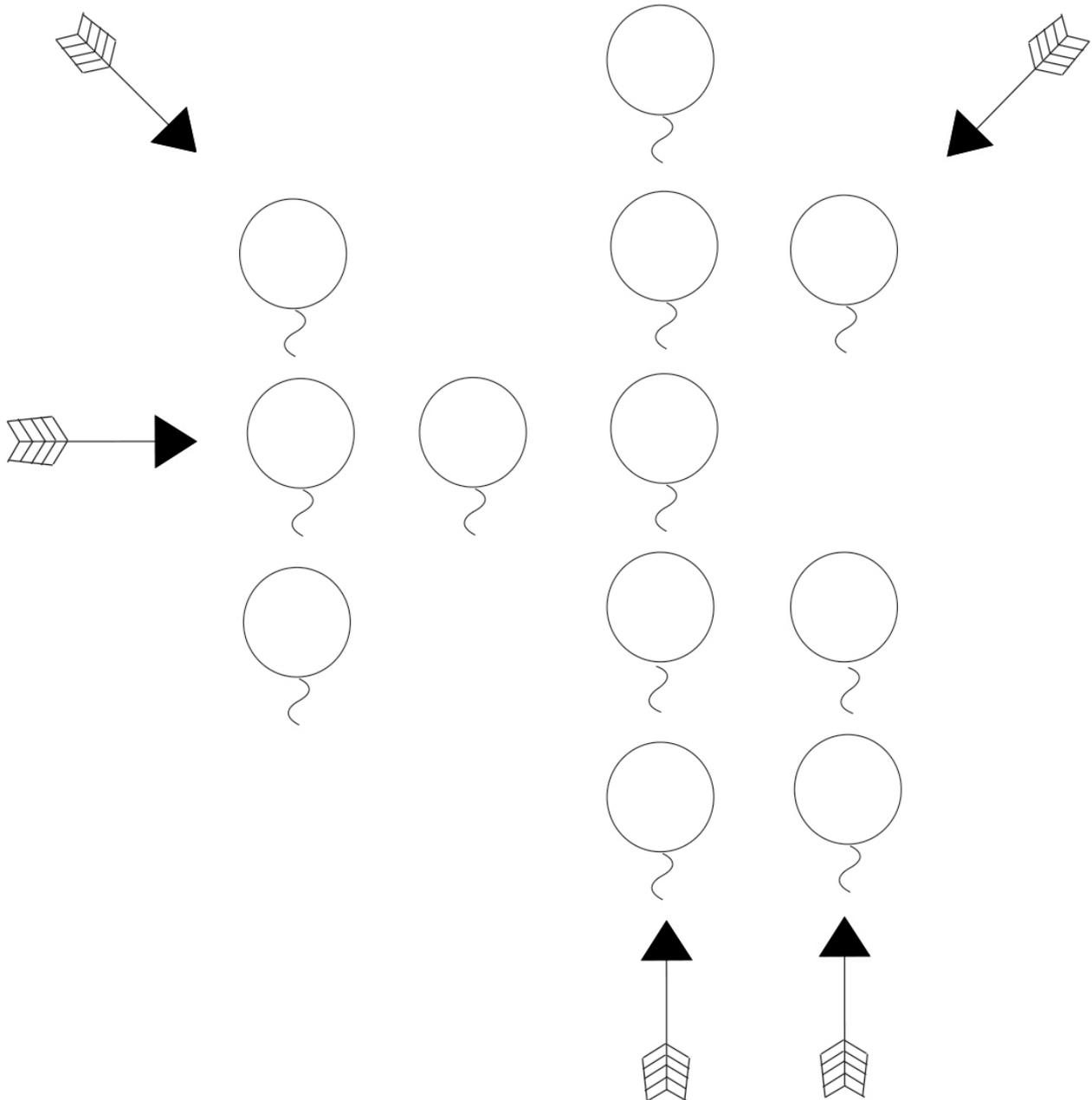
| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● |
| ● | ● | ○ | ● | ● | ○ | ● |
| ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| ● | ● | ● | ○ | ● | ● | ○ |
| ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ● |
| ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| ○ | ● | ○ | ● | ● | ○ | ● |

←
ゴール

おうちのかたへ

子どもたちが大好きな迷路。たくさん手を動かし、試行錯誤する経験を積んでいきます。教室ではゴールから考え始める子、すべての道を通してゴールを探す子、目線で道筋を確認してから線を書き込む子など、それぞれのやり方で楽しんでいます。取り組み方に正解はありません。子どもたちが考える過程を楽しんでいることが大切です。お子さまが挑戦することをためらっているときは「いろいろな道を通ってみよう！最初はどの道にしようか？」、なかなかゴールにたどりつけずくじけそうなときは「ここまで進めたね！こっちに進んだらどうなるかな？」など声をかけ、背中をおしてあげましょう。そして、ゴールができたときは「たくさん考えたね！」と頑張りを認めてもらうことで、子どもたちはより一層達成感や試行錯誤する楽しさを感じ、考えることが好きになっていきます。

矢がまっすぐとんだとき、割れない風船に○をつけましょう。



おうちのかたへ

矢がどの風船を割るかを頭の中でイメージすることで、補助線が浮き上がって見える力を育みます。最初は矢が通る道を線で書いて、頭の中で補助線をイメージする感覚をつかんでいきましょう。お子さまの手が止まっているときは「矢がまっすぐ通ったらどの風船が割れるかな？」と声をかけながら一緒に線を引いてみましょう。勢いよく線を引くあまり、線が曲がってしまうこともあるでしょう。そんなときは「力強く線が引けたね。でも、矢が曲がって飛んでいるね。」と、まずはできたことを認め、お子さまの気づきを促せるよう声をかけてあげましょう。子どもたちにとって直線をきれいに引くのは意外と難しいものです。慣れてくると線を引かずとも正解を導き出すことができるようになります。

絵の様子を表す図は①～③のどれですか。

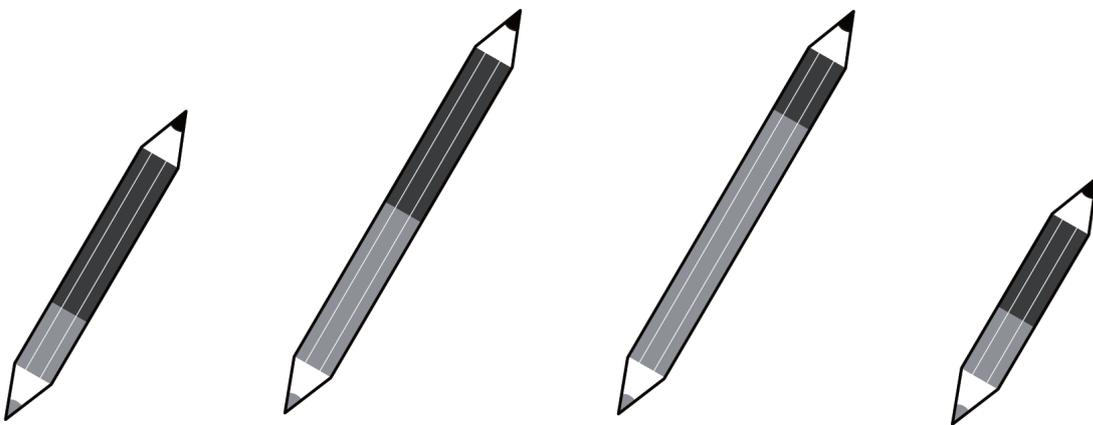
○をつけましょう。

A

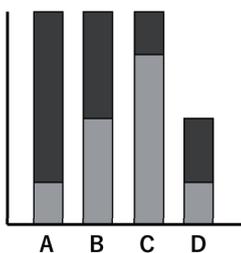
B

C

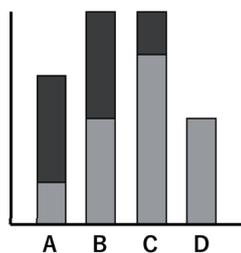
D



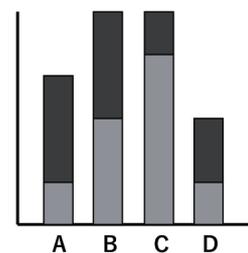
①



②



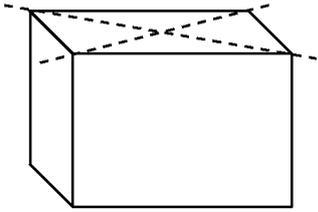
③



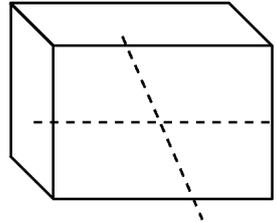
おうちのかたへ

イラストから得られる情報を整理して、グラフという抽象的な形に落とし込んでいく問題です。教室でこの問題を扱うときには、まずグラフを知っているか子どもたちに尋ねます。グラフを知らない子には「鉛筆の長さが長いとグラフの棒が長くなって、短いと棒も短くなるよ。」と、グラフが数をどのように表しているのかを初めに伝えてください。鉛筆の全体の長さだけでなく色の割合にも着目する問題です。次第に、イラストのどこに注目したグラフなのかを見抜くことができるようになります。

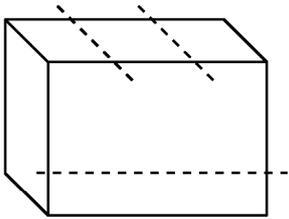
点線にそって切ると、何かに切り分けられるでしょう。



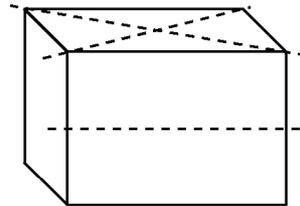
_____ こ



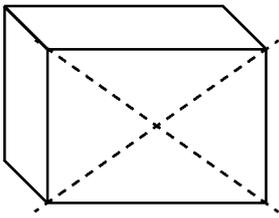
_____ こ



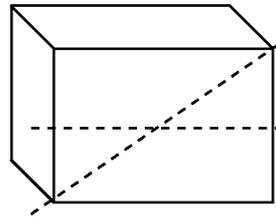
_____ こ



_____ こ



_____ こ



_____ こ

おうちのかたへ

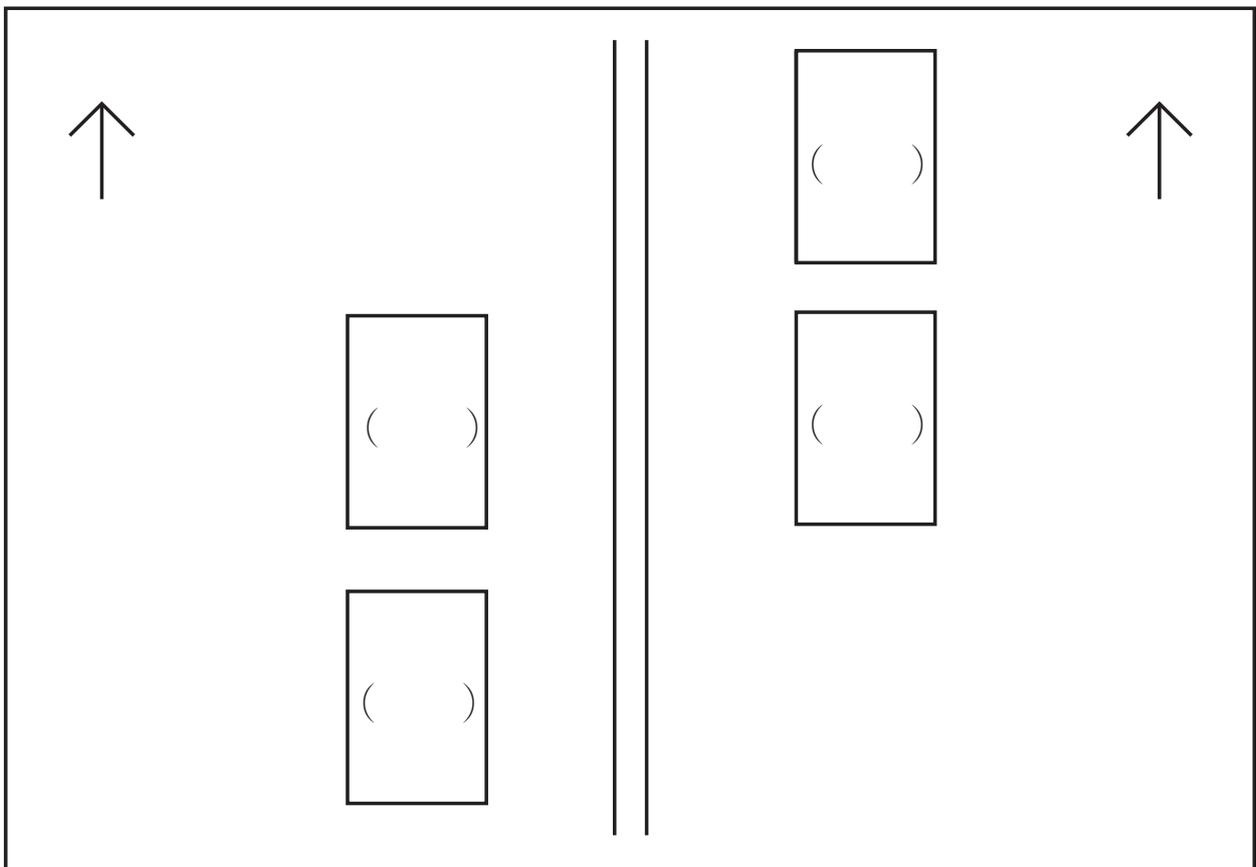
頭の中で立体をイメージし、点線で切ったら何個に分かれるのかを考えます。どのように切断されるのかを想像することで、空間認識力を育みます。「ここでスパッと1回切ったら2つに分かれるね。」「さらに上から切ると何個になるかな?」と数がどのように増えていくのかを確認しながら取り組んでみましょう。実際に紙粘土や豆腐を使い、切り方によって何個に切り分けられるのか、実践してみるのもよいですね。実感をとまなうことで問題を解いたときにも納得感が得られます。

あか あお しろ くろ しょく くるま どうろ はし
赤、青、白、黒の4色の車が道路を走っています。

それぞれどこを走っているのかを書き入れましょう。

あか くるま くろ くるま うし はし
赤い車は黒い車の後ろを走っています。

しろ くるま あか くるま はし
白い車は赤い車とならんで走っています。



おうちのかたへ

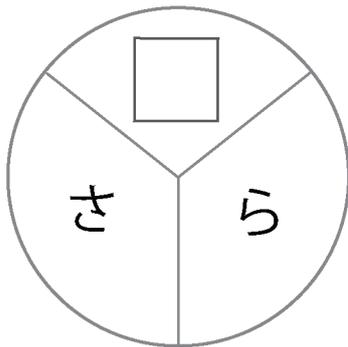
与えられた情報から重要な条件を整理し、論理的に考える力を養う問題です。「黒い車は赤い車の後ろにある」などと条件をひとつずつ確認しながら、車の位置関係を図にすると情報の整理がしやすくなります。答えが決まっていく過程を楽しみましょう。文章を読んで得た情報を頭の中で整理するのは子どもたちにとっては難しい作業です。最初は一緒に問題を声に出して考えていくのもよいでしょう。情報を視覚的に整理することができるようになると、複雑な文章問題も考えやすくなります。問題を解くなかで「絶対に決まることから考える」という、論理的な思考方法を子どもたちは身につけていきます。

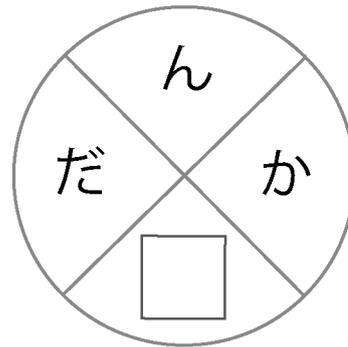
□にあてはまる ことばを かきましょう。

れい

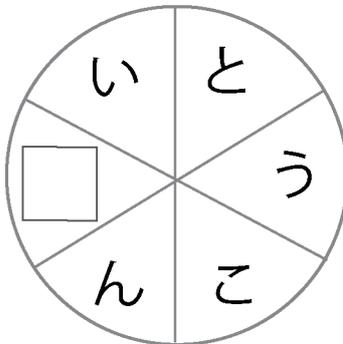
ご

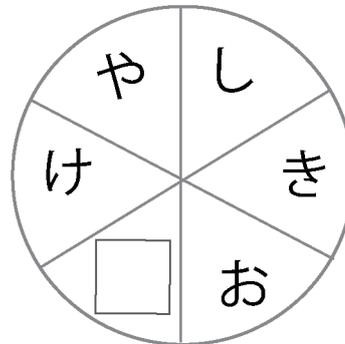
レベル **1** ☁





レベル **5** ☁☁☁☁☁





おうちのかたへ

空欄に文字を入れて言葉を完成させる言葉遊びです。「あ！」とひらめいたときの喜びと達成感が学ぶ楽しさにつながります。行き詰っていたら、「最初の文字を○として、考えてみよう!」「家の中にあるものだよ。」などとたくさんヒントを出してあげましょう。自分の力でやり遂げることも大切ですが、まずは「できた!」「楽しい!」と思いながら挑戦できることが重要です。教室では、持ち帰ったレインボータイムをおうちの人と一緒に取り組み、次の授業で「できたよ!」と嬉しそうに持ってくる子もいます。大切なのは最後に正解を導くのは子どもたち自身ということです。大人も一緒になって楽しむことで子どもたちはより一層楽しんで学ぶことができます。

